

株 主 各 位

証券コード 6574
2026年9月15日
電子提供措置の開始日 2026年9月8日
東京都渋谷区桜丘町22番14号
株 式 会 社 コ ン ヴ ァ ノ
代 表 取 締 役 社 長 上 四 元 絢

臨時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当社臨時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。
本臨時株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトアクセスの上、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】
<https://www.convano.com/>
（上記ウェブサイトにアクセスいただき、メニューより「IR情報」、「IRライブラリ」、「株主総会関連資料」を順に選択いただき、ご確認ください。）

【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】
<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>
（上記の東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「コンヴァノ」又は「コード」に当社証券コード「6574」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類／PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知／株主総会資料」欄よりご確認ください。）

当日のご出席に代えて、インターネット又は書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討くださいますと、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に賛、否のいずれかをご表示いただき、2026年9月29日（火曜日）午後6時までに到着するようご送付いただきたくお願い申し上げます。



敬 具

記

1 日 時	2026年9月30日（水曜日）午前10時30分 （前回と開催時刻が異なりますのでご注意ください。）
2 場 所	東京都渋谷区桜丘町22番14号 N.E.S.ビルS棟 1F （前回と開催場所が異なりますのでご注意ください。）
3 会議の目的事項	決議事項 第1号議案 株式併合の件 第2号議案 定款一部変更の件 第3号議案 特定の株主からの自己株式取得の件 第4号議案 剰余金の処分（欠損填補）の件

以 上

- 議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。
- なお、電子提供措置事項に修正が生じた場合は、修正した旨、修正前の事項及び修正後の事項を上記の電子提供措置をとっている各ウェブサイトに掲載させていただきます。

議決権行使についてのご案内

書面郵送又はインターネットで議決権を行使される場合

書面郵送



議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示の上、ご返送ください。
議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。

行使期限 **2026年9月29日（火曜日）午後6時到着分まで**

インターネット



次頁の「インターネットによる議決権行使について」をご参照の上、賛否をご入力ください。

行使期限 **2026年9月29日（火曜日）午後6時まで**

株主総会にご出席される場合

株主総会ご出席



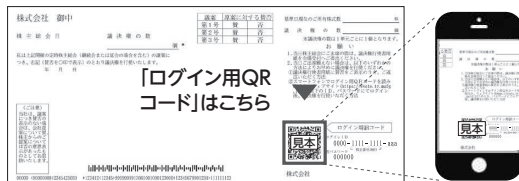
議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。
なお、株主ではない代理人及び同伴の方等、議決権を行使できる株主以外の方はご入場いただくことができませんので、ご注意ください。

株主総会開催日時 **2026年9月30日（水曜日）午前10時30分**

インターネットによる議決権行使について

インターネットによる議決権行使は、パソコン又はスマートフォンから当社の指定する議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスしていただくことによるのみ実施可能です。

スマートフォンの場合 QRコードを読み取る方法



議決権行使書副票(右側)

スマートフォンでの議決権行使は、「ログインID」「仮パスワード」の入力が不要です。同封の議決権行使書副票(右側)に記載された「ログイン用QRコード」を読み取りいただくことで、ログインいただけます。

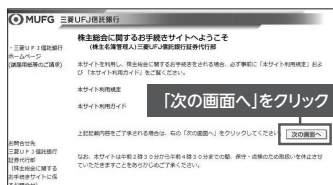
※議決権行使書はイメージです。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

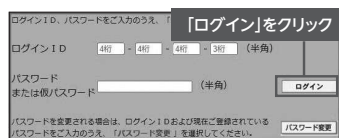
ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使サイトのご利用方法

① 議決権行使サイトにアクセスする



② お手元の議決権行使書用紙の右下に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」を入力



以降画面の案内に沿って
賛否をご入力ください。

ご注意事項

- インターネットによる議決権行使は、株主総会前日(2026年9月29日(火曜日))の午後6時までで受付いたします。
- 郵送とインターネットにより、二重に議決権行使をされた場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。
- インターネットにより、複数回数にわたり議決権行使をされた場合は、最終に行われた議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。

システム等に関するお問い合わせ(ヘルプデスク)

三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部

 **0120-173-027** (通話料無料)

受付時間：午前9時から午後9時まで

株主総会参考書類

第1号議案 株式併合の件

1. 提案の理由（株式併合の目的）

当社は、2025年7月及び8月の2度の株式分割により投資単位を10,000円まで引き下げましたが、株価水準の低下に伴い呼値（1円）が株価に占める比率が拡大し、投資対象としての安定性の観点で改善の余地が生じております。東京証券取引所の調査でも「10万円～」の投資単位を求める回答が最多であったことを踏まえ、投資単位を10万円程度に調整し株式の安定性と中長期的な株主層の形成を図るため、普通株式10株を1株に併合する株式併合（以下「本株式併合」といいます。）を実施いたしたく提案するものであります。併せて、本株式併合とその結果により1株未満の端数が生じる場合の処理について、それらの目的を達するため、以下の内容を実質的に変更しない範囲で、軽微な修正その他必要な措置の決定を当社取締役会に一任する授權をお願いするものであります。

2. 提案の内容（株式併合の内容）

併合する株式の種類	普通株式
併合の割合	当社普通株式10株につき1株の割合で併合します
効力発生日	2026年11月1日
効力発生日における発行可能株式総数	173,398,400株
併合前の発行済株式総数 (2026年6月30日現在)	509,156,000株
併合後の発行済株式総数 (理論値)	50,915,600株

(注1) 効力発生日における発行可能株式総数は、会社法第180条第2項第4号に基づき本議案において定めるものであり、本議案が原案どおり承認可決された場合、同法第182条第2項に基づき、効力発生日である2026年11月1日をもって、当社定款第6条に定める発行可能株式総数は173,398,400株に変更されたものとみなされます。

(注2) 併合前の発行済株式総数及びこれを基礎として算定した併合後の発行済株式総数の理論値は、2026年6月30日現在の発行済株式総数を基準としており、効力発生日までの新株予約権の行使その他の事由により変動する可能性があります（本招集ご通知発送日現在発行済みの第5回新株予約権は権利行使期間が2032年7月以降であるため、これによる変動はありません）。

3. 1株未満の端数が生じる場合の処理

本株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第235条第1項及び同条第2項において準用する同法第234条第2項の規定に基づき、その端数の合計数に相当する株式を一括して市場において行う取引により売却処分し、その売却処分代金を端数の割合に応じて端数が生じた株主の皆様へ交付いたします。なお、かかる処理の見込みについては、次のとおりです。

(1) 市場売却処分の時期の見込み

2026年11月2日から2026年12月上旬頃まで

(2) 市場売却処分代金の交付時期の見込み
2027年1月下旬頃

(3) 上記の見込みに関する取締役会の判断及びその理由

本株式併合により、2026年3月31日現在の株主名簿を前提といたしますと、端数が生じる株主の皆様690名（本株式併合前の所有株式数が10の倍数でない株主の皆様であり、10株未満所有株主396名を含みます。）が、本株式併合により1株未満の端数を有することとなり、これらの株主の皆様が所有する端数の合計は2,450株（発行済株式総数の約0.00048%。本株式併合後の株式数に換算して245株）となることを見込まれます。

端数の処理に当たっては、効力発生日後の株主名簿の確定、端数の集計、証券会社を通じた売却処分及び売却代金の交付に係る証券代行事務が必要となります。これらの手続に要する期間を勘案し、市場売却処分の時期を2026年11月2日から同年12月上旬頃まで、売却代金の交付時期を2027年1月下旬頃と見込んでおります。

(4) 上記の処理により株主に交付することが見込まれる金銭の額及び当該額の相当性に関する事項

1株に満たない端数が生じる株主の皆様に対して交付されることが見込まれる金銭の額は、上記のとおり、その端数の合計数に相当する株式を一括して市場において行う取引により得られた売却処分代金を端数の割合に応じて算出された金額となる予定ですが、処分時における当社株式の市場価格を基礎として決定されるため、現時点において確定しておりません。しかしながら、当該売却処分は市場において行われるものであり、交付される金銭の額は当該売却処分時点の市場価格により変動いたしますが、当該売却処分の時点で形成された市場価格の変動による影響を除けば、端数の処理そのものによって株主の皆様を経済的価値が毀損されることはないものと考えられ、相当であると考えております。

4. 株式の割合についての定め の相当性に関する事項

上記「1. 提案の理由」に記載のとおり、当社は、2025年7月及び8月の2度の株式分割により投資単位を10,000円まで引き下げましたが、株価水準の低下に伴い呼値（1円）が株価に占める比率が拡大し、投資対象としての安定性の観点で改善の余地が生じているため、本株式併合を実施するものです。

本株式併合の割合は、上記「2. 提案の内容」に記載のとおり、普通株式10株につき1株の割合で併合するものですが、東京証券取引所の調査でも「10万円～」の投資単位を求める回答が最多であったことを踏まえ、株式の安定性と中長期的な株主層の形成を図るため、投資単位を10万円程度に調整するべく設定されたものであることから、本株式併合における株式の割合は相当であると判断しております。

5. 親会社等以外の株主の利益を害さないように留意した事項

当社には、当社の議決権の61.56%（2026年3月31日現在）を保有する筆頭株主である株式会社NTが存在いたします。本株式併合は、投資単位の水準を適正化することを目的とするものであり、株主の皆様 の議決権比率その他の権利関係を実質的に変動させることを目的とするものではありません。本株式併合の前後において、各株主の皆様 の持株比率は、理論上、1株に満たない端数の処理により生じる影響を除き、変動いたしません。

もっとも、本株式併合により、2026年3月31日現在の株主名簿を前提といたしますと、所有株式100株以上1,000株未満の株主の皆様8,876名（総株主数16,004名の55.46%）が新たに単元未満株主となり、株主総会における議決権及び取引所市場における売買機会を失うこととなります。これらの株主の皆様 の所有株式数の合計は2,399,236株（発行済株式総数の0.4712%。本株式併合後の株式数に換算して約239,923株）であり、これに係る議決権（最大23,992 個）が消滅することとなります。この結果、議決権を有する株式数が減少することに伴い、大株主の議決権比率は上昇することとなりますが、消滅する議決権の数は本株式併合前の議決権の総数の1%に満たない見込みであり、その上昇の幅は限定的なものに

とどまるものと考えております。なお、具体的な議決権比率は、本株式併合の効力発生日の前日（2026年10月31日）現在の株主名簿に基づき確定するものであるため、現時点において確定しておりません。当社は、2026年8月24日開催の取締役会において、本株式併合により多数の株主の皆様が単元未満株主となり、その議決権及び取引所市場における売買機会に影響が生じること、並びに当社に支配的な株主が存在する状況においてこれらの影響が生じることについて、慎重に審議いたしました。当該取締役会においては、①投資単位を適正な水準に調整する必要性、②単元未満株主となる株主の皆様の権利保護の方策（会社法第192条第1項に基づく単元未満株式の買取請求制度に加え、第2号議案「定款一部変更の件」[2. 変更の内容]のとおり単元未満株式の売渡請求制度を新たに導入すること）、③本株式併合に反対する株主の皆様へ会社法第182条の4に基づく株式買取請求の機会が確保されていること、及び④大株主の議決権比率が上昇することが少数株主の皆様へ及ぼす影響について検討を行いました。その結果、単元未満株主となる株主の皆様が生じる影響は、単元未満株式の買取請求制度及び新たに導入する単元未満株式の売渡請求制度により相当程度緩和されるものと考えられること等を踏まえ、本株式併合を実施することが株主の皆様全体の利益に資するものと判断いたしました。

なお、当社の流通株式比率につきましては、本株式併合は株主の皆様の所有株式数を一律に10分の1とするものであり、流通株式数及び上場株式数のいずれもが同一の割合で減少することとなるため、本株式併合それ自体によって当社の流通株式比率が実質的に変動することはないものと考えております。

また、1株に満たない端数が生じる株主の皆様に対しては、前記「3. 1株未満の端数が生じる場合の処理」のとおり市場における売却処分代金が交付されます。当該売却処分は市場において行われるものであり、交付される金銭の額は売却時点の市場価格により変動いたしますが、理論上、市場価格の変動による影響を除けば、端数の処理そのものによって株主の皆様の経済的価値が毀損されることはないものと考えております。

6. 最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象

1. アクセルマーク株式会社の株式の取得（連結子会社化）

当社は、2026年5月29日開催の取締役会において、アクセルマーク株式会社（東京証券取引所グロース市場、証券コード：3624）が実施する第三者割当による新株式を引き受け、同社を当社の連結子会社とすることを決議し、2026年7月2日付で同社株式の取得を実行いたしました。

なお、当該企業結合におきましては、IFRS第3号「企業結合」の規定を適用しておりますが、現時点において、当該企業結合に関する企業結合時の会計処理が完了していないため、会計処理に関する詳細な情報は記載しておりません。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：アクセルマーク株式会社

事業の内容：ヘルスケア事業、ゲーム事業等

② 取得日

2026年7月2日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

68.91%（取得前0%）

④ 企業結合を行った主な理由

同社のヘルスケア領域における事業基盤と、当社グループのヘルスケア事業及びインベストメント&アドバイザリー事業を通じて蓄積した医療機関向けサービス提供能力、M&A実行能力並びに資金供給能力を有機的に組み合わせることにより、両社が単独では実現し得ない事業基盤の拡大が可能になると判断したためであります。

⑤ 企業結合の法的形式

現金を対価とする第三者割当増資の引受け

(2) 取得対価及びその内訳

取得対価 900,000千円（現金）

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 概算2,000千円

(4) のれん、識別可能な取得資産及び引受負債

取得資産及び引受負債の取得日の公正価値を算定中のため、現時点では確定しておりません

2. 保有する暗号資産の売却

当社は、2026年7月24日開催の臨時取締役会において、当社グループが保有する暗号資産（株主優待制度に基づく優待品の交付に充当する分及び当社の借入金の担保に供している分を除く。以下「本暗号資産」といいます。）について、財務体質の安定化及び資本効率の向上を図る観点から、同日から概ね3か月以内を目途に売却を進める方針を決議し、2026年8月10日に本暗号資産の売却が完了いたしました。当該売却により、2027年3月期第2四半期連結会計期間に売却損（その他の費用）298百万円を計上する予定です。

3. 特定の株主からの自己株式取得の件

第3号議案「特定の株主からの自己株式取得の件」が原案どおり承認可決された場合には、同議案「2. 取得に係る事項の内容」に記載の自己株式取得を実施する予定です。

4. 市場買付けによる自己株式の取得

当社は、2026年8月24日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款第9条の規定に基づき、株式会社東京証券取引所における市場買付けにより自己株式を取得することを決議いたしました。

取得し得る株式の総数は7,710,400株、取得価額の総額は771,040千円をそれぞれ上限とし、取得期間は2026年10月1日から2027年3月31日までとしております。

なお、第3号議案に係る特定の株主からの自己株式取得と本市場買付けによる取得価額の総額は、合計4,500,000千円を超えないものとしております。

5. 第4回普通社債の繰上償還

当社は、2026年8月24日開催の取締役会において、株式会社ディメンショナルに全額を割り当てて発行した第4回普通社債（発行総額2,500,000千円）について、同社との合意に基づき、全額を繰上償還することを決議いたしました。償還原資には、保有していた暗号資産の売却代金の一部を充当する予定であります。本社債は無利息であり、本繰上償還に伴う違約金、期限前償還手数料その他の費用は発生いたしません。

第2号議案

定款一部変更の件

1. 変更の理由

第1号議案の株式併合により多数の株主の皆様が単元未満株式を所有することとなるため、その権利保護を図る目的で、単元未満株主の皆様が所有する単元未満株式と併せて1単元（100株）となる数の株式を当社から買い増すことを請求できる制度（単元未満株式の売渡請求）を新設するものです。本議案に係る定款第8条及び第8条の2の変更の効力発生日は、2026年11月1日といたします。

2. 変更の内容

現行定款	変更案（下線部変更）
（単元未満株式についての権利） 第8条 当会社の株主は、その有する単元未満株式について、次に掲げる権利以外の権利を行使することができない。 (1) 会社法第189条第2項各号に掲げる権利 (2) 会社法第166条第1項の規定による請求をする権利 (3) 株主の有する株式数に応じて募集株式の割当て及び募集新株予約権の割当てを受ける権利（新設）	（単元未満株式についての権利） 第8条（現行どおり） (1)（現行どおり） (2)（現行どおり） (3)（現行どおり） (4) 次条に規定する請求をする権利
（新設）	（単元未満株式の売渡請求） 第8条の2 当会社の単元未満株式を有する株主は、<u>株式取扱規程に定めるところにより、その有する単元未満株式の数と併せて単元株式数となる数の株式を売り渡すことを請求することができる。</u>

（注）本議案は、第1号議案（株式併合の件）の承認可決を前提とするものではなく、単元未満株式の売渡請求制度のみを内容とする独立の議案です。発行可能株式総数の変更は、第1号議案における決議事項であり、本議案による定款変更の対象ではありません。

第3号議案

特定の株主からの自己株式取得の件

1. 提案の理由

株式会社ディメンショナルから、当社第4回新株予約権の行使により取得した当社株式について、市場売却では需給悪化・株価への影響が懸念されることから、所有する当社株式の全部を市場外で譲渡する意向を示されたことから、当社は、既存株主の利益保護及び資本効率向上の観点から、会社法第156条第1項、第160条第1項及び第161条の規定に基づき、市場外の相対取引により取得いたしたく、次項のとおり自己株式の取得（以下「本自己株式取得」といいます。）を提案するものであります。

なお、取得する自己株式は、単元未満株式の売渡請求（買増請求）への対応に必要な株式を除き、取得完了後速やかにその全部を消却する方針です。

2. 取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	37,289,600株（上限、発行済株式総数（自己株式除く）の7.33%）
株式1株当たりの取得価額	1株につき100円。ただし、本臨時株主総会の日の前日である2026年9月29日を基準として、会社法第161条及び会社法施行規則第30条に定める方法により算定される市場価格が100円を下回る場合は、当該市場価格とします。
株式の取得価額の総額	金 3,728,960,000円（上限）
取得の相手方	株式会社ディメンショナル
取得の方法	市場外の相対取引
取得の期間	2026年10月1日から2026年10月30日まで

（注）本自己株式取得は、会社法第461条に定める分配可能額の範囲内で実施いたします。

3. 売主追加請求権・議決権の制限及び決議要件

取得価額が市場価格を超えることはないため会社法第161条の適用を受け、他の株主の皆様の売主追加請求権（同法第160条第2項・第3項）は適用されません。また、同法第160条第4項により株式会社ディメンショナルは本議案について議決権を行使できません。本議案は特別決議事項であり、当社定款第16条第2項の定めにより、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主の出席及び出席した当該株主の議決権の3分の2以上の賛成を要します。

第4号議案

剰余金の処分（欠損填補）の件

1. 提案の理由（欠損填補の目的）

当社は、2026年6月27日開催の第13回定時株主総会の決議に基づき資本金及び資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振り替えました。当該振替後のその他資本剰余金を原資として繰越利益剰余金の欠損を填補するべく剰余金の処分（以下「本剰余金処分」といいます。）を実施し、財務体質の健全化と今後の資本政策・株主還元策における柔軟性の確保を図りたく提案するものです。本剰余金処分は株主資本内部の振替であり、株主資本合計、純資産の総額及び分配可能額に変動は生じません。

2. 提案の内容（欠損填補の内容）

減少する剰余金の項目とその額	その他資本剰余金 4,311,189千円
増加する剰余金の項目とその額	繰越利益剰余金 4,311,189千円

3. 剰余金の処分が効力を生ずる日

2026年9月30日

以上

株主総会会場ご案内図



会場

東京都渋谷区桜丘町22番14号
N.E.S.ビルS棟 1階

アクセス

JR・各線「渋谷」駅 西口より
徒歩10分

※株主総会ご出席の株主様へのお土産はご用意しておりませんので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。
※ご来場に際しましては、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

CONVANO

本社所在地：
東京都渋谷区桜丘町22番14号
N.E.S.ビルS棟 地下3階